

















今月は関東地方を登載する旨お知らせ致しましたが、ページ数の都合により東京都を単独にとりあげ、関東地方6県は次号で紹介致します。

東京都の概要 (1962年・朝日年鑑による)

東京都の公称総面積は、2,023.36 km²、うち区方面積は 569.51 km²、市部 460.85 km²、郡部 696.06 km²、島部 296.94 km² である。

また東京都は 23 の特別区のほかに、南、北、西の三多摩郡と島に 10 市 22 町 10 村を包括し、都内市町村の人口は総人口のわずかに14%にすぎないが、面積は都の総面積の 72 % を占めている。

使用記号一覧

ダム工事 	道路工事 (新設) 	鉄道工事 (新設) 
橋梁工事 	河川工事 	観光施設および観光計画 
港湾工事 	海岸保全 	上水道および工業用水 
下水道 	工業用地計画および住宅 	都市計画 
埋立工事 	公園緑地 	土地改良 
特殊鉄道 		

東京都市区一覽表 (1962年3月1日現在、東京都総務局統計部)

区・市名	区・市制施行日	面積 km ²	人口
千代田	昭. 22. 3. 15	11.52	113 146
中央	"	9.65	155 622
港	"	19.01	262 576
新宿	"	18.04	418 905
文京	"	11.44	261 298
台東	"	10.00	312 783
墨江	"	13.80	331 167
品川	"	25.69	360 384
目黒	"	15.82	433 246
大塚	昭. 7. 10. 1	14.41	296 232
世田谷	昭. 22. 3. 15	41.70	727 497
荒川	昭. 7. 10. 1	58.80	674 823
板橋	"	15.11	285 371
練馬	"	15.73	364 495
足立	"	33.54	501 640
豊島	"	13.01	372 100
北	昭. 22. 3. 15	20.55	433 122
荒板	昭. 7. 10. 1	10.34	283 063
練馬	"	31.90	433 132
練馬	昭. 22. 8. 1	47.01	339 633
練馬	昭. 7. 10. 1	53.25	437 700
練馬	"	33.90	395 076
練馬	"	45.18	336 470
練馬	大. 6. 9. 1	165.87	165 409
練馬	昭. 15. 12. 1	8.79	70 766
練馬	昭. 22. 11. 3	11.03	125 689
練馬	昭. 25. 11. 3	16.83	104 409
練馬	昭. 26. 4. 1	104.01	57 786
練馬	昭. 29. 4. 1	29.96	91 961
練馬	昭. 29. 5. 1	18.04	48 743
練馬	昭. 30. 4. 1	21.80	77 351
練馬	昭. 33. 2. 1	73.17	80 286
練馬	昭. 33. 19. 1	11.35	52 961
計		2023.36	10 019 298

東京都の予算 37 年度東京都会計当初予算

特別会計	472 億円	(12%)
一般会計	2 745	(66%)
公営企業会計	923	(22%)
合計	4 140 億円	

一般会計歳出予算の内訳

教養費	582 億円	(21%)
土木費	554	(20%)
社会福祉費	393	(14%)
警察消防費	306	(11%)
都庁費	254	(9%)
その他	236	(9%)
都債費	159	(6%)
保健衛生費	141	(5%)
産業経費	120	(5%)

東京都の将来計画

東京都の道路整備の将来計画 (建設局)

東京都内の自動車登録台数はすでに 60 万台を突破し、さらに毎月約 1 万台が増加している。この自動車の急増に対して道路の整備状況は 23 区内の道路率 9.6 % (諸外国の都市では最近 25 % 程度) が示すように非常に遅れている。このため 35 年 7 月に首都交通対策審議会を設けて将来の交通対策を検討してきた。36 年 3 月に「既存道路対策、道路計画および道路等交通関係公共用地取得対策に関する答申」が行なわれ、現在種々長期計画を策定中であるので、この答申の概要を述べて東京都の道路整備の将来計画とする。

1. 既存道路対策

第 1 : 一般対策として歩車道の整備、軌道面の舗装強化、道路工事および道路埋設物工事の合理化、道路維持補修の強化として車道照明施設の新設整備がうたわれている。

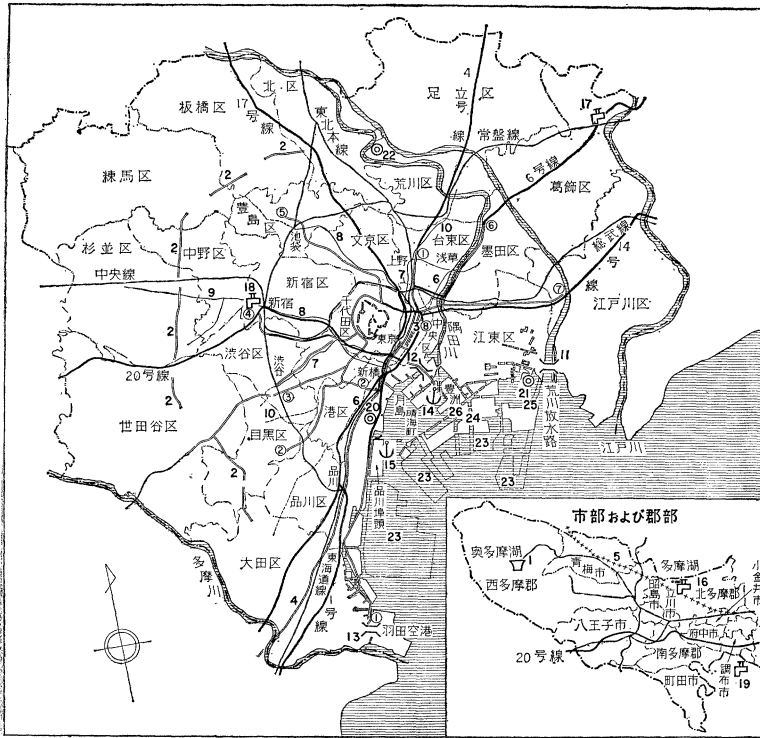
第 2 : 交差点付近等の改良対策として主要交差点の立体化、混雑地点の歩行者横断施設の整備、交差点付近の道路拡巾、街角における道路の局所改修、バス停留所の移設改善、安全地帯の移設として鉄道との交差における応急改良などがある。

2. 道路計画

第 1 : 高速道路対策としては既計画分にさらに外環状線、内環状線などの追加、また放射線路の延長と追加、港湾埋立計画区域内の高速道路整備などがある。

第 2 : 都市計画街路対策として街路計画の再編成、交差点の立体化、鉄道との立体交差化、自転車専用車道の設置などがうたわれている。

第 3 : 駐車場対策として駐車場配置計画の追加検討をのべている。



将来計画の概要は上記の通りであるが、今後の道路整備は平面街路の新設、拡市、

主要交差点の立体化、高速道路の建設が主要なものとなる。

港 湾 局

従来の東京港は戦前の経済規模で計画され、東京市によつて経営されてきたが、戦後は主として、既存利用水域における局部的な施設の拡張によって、かろうじて港湾機能を確保してきた。しかし、この施設も岩戸景気を契機とする海運貨物の急増により昭和 35 年末頃から慢性的なフルパース状態となり、36 年春から入港不能の港外パース待船船が現われ、ますますこの傾向は顕著となり、ついに 10 月には最高 94 隻滞船日数 2 カ月におよび、現在以上の貨物量（昭和 36 年実績約 2500 万トン）の取扱いは不可能の状態となった。

一方、昭和 31 年公布された首都圏整備法にもとづき、首都圏地域の整備計画が立案され、都内の人口集中抑制と平行して人口分散対策が実施され、内陸部の工業衛星都市の開発や臨海部、おもに東京湾における大規模な臨海工業地帯が造成され、東京港の港域は東京湾の北西岸、京浜工業地帯の接続部に当り、また都内における位置関係では、半径 16 km のほぼ円形の都市計

画区域の東南 1/4 の約 4000 万坪の扇形海面に相当する。

今回決定した、東京港の改訂港湾計画は、種々の行政制度や財政上、技術上の制約の下に将来の港湾規模とその性格の基本を策定し、その場合の埠頭配置と埋立のり線を設定したものである。

すなわち、この水域の約 1/2 水域面積 2100 万坪、水深 -5 m ラインまでを開発対象として、その計画目標年次を所得倍増構想に合わせた昭和 45 年に想定して、当面東京都内における物資供給態勢の近代化と都市機能の強化、あるいは都市再開発のための用地供給を目途としたものであって、水際延長 80 km、埋立面積 700 万坪、当面の港湾利用水際線は約 26 km、港湾貨物取扱量 2500 万トンの施設拡充を主体に、道路、鉄道、飛行場などの交通施設を始め、汚水処理場、公園、緑地、塵埃処理場、住宅など、都市施設のための用地供給を積極的に推進するよう意図したものである。

この計画は、すでに、昭和 36 年度から

工事区分	番号	工 事 件 名
ダム工事	1	小河内ダム築造工事
道路工事 (新設)	2	都市計画街路放射 4 号線および環状 7 号線街路工事
	3	地下駐車場および街路の立体交差工事
鉄道工事 (新設)	4	東海道新幹線
	5	武州鉄道
	6	都営地下鉄 (1 号線)
	7	営団地下鉄銀座線 (3 号線)
	8	営団地下鉄丸ノ内線 (4 号線)
	9	営団地下鉄荻窪線 (4 号線)
	10	営団地下鉄日比谷線 (2 号線)
橋梁工事	11	葛西橋工事
	12	佃橋工事
	13	新稲荷橋工事
港湾工事	14	晴海埠頭棧橋築造
	15	品川埠頭棧橋築造
上水道および工業用水	16	東村山浄水場築造工事
	17	金町浄水場築造工事 (既設備一部改造一) (部新設)
	18	淀橋給水所築造工事
	19	長沢浄水場築造工事
下水道	20	芝浦下水処理場
	21	砂町下水処理場
	22	小台下水処理場
埋立工事	23	東京湾埋立工事 (図中東京湾点線部分)
その他	24	辰巳水門築造工事
	25	砂町水門築造工事
	26	東雲水門築造工事

位置および交通案内	工事事務所所在地	工費 (1000万円)	工事特徴	事業主体	主要施工業者	施工年月 竣工予定年月	備考
西多摩郡奥多摩町大字原 (青梅線氷川駅)	西多摩郡奥多摩町大字境 水道局小河内貯水池 管理事務所	1 365	直線重力式コンクリートダム 高 149 m 長 353 m コンクリート 1 675 680 m ³ 貯水量 184 000 000 m ³	水道局	西松建設, 鹿島建設	1957.11.26 竣工	水道用
放4 赤坂見付～世田谷新町 環7 南千束町～板橋本町	建設局第1特定街路 建設事務所 第2特定街路建設事 務所 第4特定街路建設事 務所	3 680	鉄道および主要道路との交差は 立体交差である	道路建設 本部		1961～1963	
中央区江戸橋～銀座東八 丁目	都交通局第1建設事 務所 第2建設事務所	地下駐車場 4カ所 400 立体交差 5カ所 300	地下駐車場および立体交差工事 を地下鉄工事と並行して行なっ ている	道路建設 本部	佐藤工業, 大林組 清水建設	1961.7～ 1964.10	
押上～馬込 渋谷～浅草 池袋～新宿 新宿～荻窪 北千住～中目黒	都交通局第1建設事 務所 第2建設事務所	現在工事中 のところま で 731 4780	押上と泉岳寺において京成電鉄 と京浜急行と相互乗入れ	国鉄 武州鉄道 交通局 帝都高速度 交通営団 〃 〃	三井建設, 奥村組 清水, 大林組, 鹿島 建設, 鉄道建設外	1960.6.16～ 1962.10.31 1951.4～ 1962.1 1961.3～ 1964.3	延長16.1 km 延長30.1 km 延長21.1 km
江東区南砂町～ 江戸川区小島町	都第5建設事務所 葛飾区上小松町 283	175	下部工 鋼管杭, ウエル基礎 上部工 中央径間部に突桁式補 剛吊桁	建設局	鹿島建設	1959.12～ 1964.3	
中央区築地～明石町	都第1建設事務所 千代田区大手町1の2	350	下部工 ケーソン 上部工 鋼床版箱桁	建設局		1961.12～ 1964.3	
大田区羽田町	都第2建設事務所 品川区東品川 4の37	18	下部工 ケーソン 上部工 箱桁PCRラーメン	建設局	白石基礎, オリエ ンタル	1960.9～ 1962.3	
中央区晴海町		194	気圧潜函工法 延長 1 263m	港湾局	清水建設	1959～ 1962.3.31	残工事240m
港区東品川町			軟弱地盤改良工法 延長 760m	港湾局	前田建設, 大成建 設	1959～ 1962.3.31	残工事576m
北多摩郡東村山町回田 (西武線東村山駅)	左記の位置に浄水場 あり	694	最大給水量 665 000 m ³ /d 中間整流壁式 薬品沈澱池 16 池 急速ろ過池 56 池 ラジアルコーン型鋼製高架 水槽 (1 000 m ³) 1 基 ろ過池の自動洗浄装置付	水道局	鹿島建設, 西松建 設, 大成建設	1963.3.31 竣工予定	
葛飾区区金町1丁目 (常盤線金町駅)	水道局第三建設事務 所 葛飾区金町1の300	199	最大給水量 95 000 m ³ /d 高速沈澱池(スラリー循環型)4 急速ろ過池 8 池 取水ポンプ場 1 棟 取水ポンプ 50 kW 2 台 〃 325 kW 5 台 配水ポンプ場増設 1 棟 配水ポンプ 1 430 kW 2 台	〃	熊谷組	1964.3.31 竣工予定	
新宿区角筈3の14	水道局第一建設事務所 新宿区角筈3の14	42	配水池(20m×100m×5.5m)2池 配水ポンプ室 1 棟 配水ポンプ 750 kW 3 台	〃	間組	1964.3.31 竣工予定	
神奈川県川崎市生田字東 長沢 (小田急線向ヶ丘遊園駅)	水道局第一建設事務 所 新宿区角筈3の14	189	最大給水量 200 000 m ³ /d 急速攪拌池 4 池 二階層薬品沈澱池 4 池 急速ろ過池 20 池 マイクロストレーナー 10 基	〃	間組	1960.6.30 竣工	
港区芝高浜町 (国電品川または田町駅)	同 左	233.2	計画下水量 晴天時 1 020 000 m ³ /d 現在 700 000 m ³ /d	下水道 部	三井建設, 荏原イ ンフィルコ 外	1959.10～ 1962.10	
江東区南砂町 (都電 葛西橋)	〃	213.8	計画下水量 晴天時 630 000 m ³ /d 現在 200 000 m ³ /d	〃	銭高組, 村上建設 外	1960.10～ 1962.8	
足立区宮城町24 (国電 王子駅)	〃	290.8	計画下水量晴天時 420 000 m ³ /d	〃	大林組, 外	1958.6～ 1962.10	
		4 230	総面積 2 243 万 m ²	港湾局		1961～1970	
7号地～東雲町	高潮対策工事事務所 (江東区豊洲町)	40	軟弱地盤改良工法	港湾局	清水建設	1960～ 1962.3	
夢の島～砂町間	〃	23	セミドロゲート(巾員 23m)	〃	東亜港湾	〃	
豊洲～東雲町	〃	40	セクタゲート(巾員 12m)	〃	阪神築港	〃	

着手されているが、計画実施に当って解決すべき諸問題は多い。すなわち、この計画の骨格ともいうべき700mの長大橋をふくむ、臨海幹線道路や、臨海幹線鉄道の建設-30~60m以上におよぶ軟弱地盤にお

ける。構築物の工法、超大型級の高潮来襲に対する港湾防災対策等の技術上の問題のほか、この水域における4000世帯の漁業補償、あるいは事業資金の調達など、いずれも問題解決の道はけわしい。

東京都水道将来拡張計画(水道局)

最近における東京都の人口増加のすう勢をもととし、昭和55年の区部人口を950万人と推計し、これより所要給水量を想定すれば、451万m³/日となる。現在の給水量より、247万m³/日の不足給水量が予測される。これが将来拡張計画によって、充足すべき計画給水量である。

した結果、利根川を水源とする利根川系拡張事業を計画した。この利根川水源より、120万m³/日の給水量の増加を予定し、また中川および江戸川より、82万m³/日を昭和50年までに増加給水すべく、各方面と折衝中である。さらに、昭和55年までに、なお、45万m³/日の給水量の増加が必要とされているが、この水源については霞ヶ浦その他を目下調査中である。

当局としては、この247万m³/日の計画給水量の水源について、戦前より種々検討

東京都下水道将来計画(下水道本部)

東京都の下水道は明治44年着工以来約50余年を経過しているながら、かろうじて区部面積の約22%の地域に普及しているにすぎない。これを早期打開するため、昭和36年1月、総事業費2300億円(3,100億円に改定予定)をもって区部全域の下水道を昭和48年度までに完成しようと

する下水道将来計画が策定され、これを強力に推進することになった。

この概要は下記のとおりであるが、計画によると事業の最盛期においては年間300億の巨大予算となっており、事業の進捗は資金確保ということになることが予想される。

基本計画

系統名	計画排水面積	計画人口	施設計画			備考
			管きょ延長	ポンプ所	処理場	
芝浦	6328	(1000人)	1347905	6	芝浦	稼働中
三河島	3936	1120	991006	10	三河島	
砂町	3977	840	855728	14	砂町	施工中
小台	4552	600	907289	4	小台	
落合	6151	780	1314091	0	落合	〃
森ヶ崎	12370	1380	2181402	8	森ヶ崎	
小菅	5382	660	約2452579	25	小菅	都市計画決定準備中
葛西	5193	640			葛西	
新河岸	4964	690			新河岸	
計	52853	7740	10050000	67		

都営地下鉄の建設計画(交通局)

都営地下鉄路線は昭和32年6月17日建設大臣告示による。東京都市計画高速鉄道網5路線のうち第1号路線であり、これは大田区馬込東4丁目~墨田区押上町に至る17.3kmである。またその延長として大田区馬込東4丁目~同区西馬込町間に1.6kmについて新たに免許を申請している。泉岳寺にて京浜急行電鉄、押上にて京成電鉄と相互直通乗り入れを行ない、東銀座および人形町で交通営団2号線、江戸橋で交通営団5号線と立体交差を行なうことになっている。

第1期工事浅草橋~押上間3.2kmは昭和35年12月に完成し現在営業を行なっている。第2期工事の①として人形町~浅草橋を昭和35年6月に着手し昭和37年3月竣工第2期工事の②として新橋~人形町間を昭和36年5月に着手し昭和37年10月竣工を目指して鋭意工事中である。また泉岳寺~新橋間は昭和38年9月、泉岳寺~西馬込間を昭和39年3月竣工し全線開通を目途としている。建設に要する資金は大部分起債とし一部分自己資金を充当する。その総額は495億円である。

工事区分	工事件名
首都高速道路高架橋工事	114 工区高架橋
	115 工区上部(1),(2)
	115 工区交差点高架上部構
	115 工区高架(3)
	五色橋高架
	116 工区高架下部構
	116 工区(1) 高架上部構
	116 工区(2)
	117 工区高架下部構(1)
	117 工区高架上部構
	117 工区交差点高架(1)
	117 工区(2)高架上部構
	117 工区(3)高架下部構
	117 工区(2)高架上部構
	117 工区(3)高架上部構
	118 工区 高架上部構
	118 工区高架上部構
	119 (1) (2),121 工区高架
	122 工区高架上部構
	123 工区高架
	125 工区高架
	151 工区高架基礎構
	151 工区高架上部構
	241 工区高架上部構
	414 (2),415 高架
441,442 工区高架基礎	
441,442 工区高架上部構	
461, 工区高架基礎構	
461 工区高架上部構	
621~4工区高架下部構	
駐車場	汐留駐車場
	江戸橋駐車場
	本町駐車場
トンネル工事	125 工区(1),(2)
	131,132 工区
	132(2),133 工区
	141 (2), 142 工区
	413 工区
	423 工区
	1号線

位置および交通案内	工事事務所所在地	工 費 (1000万円)	工 事 特 徴	主要施工業者	施 工 年 月 竣工予定年月	備 考
港区海岸通 6 丁目	日ノ出出張所 港区芝海岸通3~1~38	210	レオンハルト P C 4 径間ラーメン 箱型断面	大成建設	1961.1.7~ 1962.3.31	
” ”	”	68	フレッシュナー P C 連続桁およびラーメン	別子建設	1960.3.27~ 1961.6.14	
” ”	”	47	箱型断面高架橋	日立造船	1960.7.14~ 1961.9.20	
” ”	”	84	3 径間連続箱型断面桁橋 (合成桁)	三井建設	1960.10.25~ 1961.12.20	
港区海岸通 5 丁目	”	102	R C 箱型断面桁 5 径間連続桁橋	高田機工	1960.9.28~ 1961.12.30	
港区海岸通	”	55	単純合成桁鋼橋脚ラーメン 延長 94m	中国土木	1961.6.16~ 1962.2.10	
港区海岸通 4 丁目	”	107	R C 橋脚, 円型橋脚, 基礎工 (カルウェルド) (ランプウェイ部分)	P S コンクリート	1961.6.16~ 1962.7.20	
” ”	”	81	単純桁 P C (フレッシュナー) T 型桁 (ランプと本線の取付部)	PC 橋梁	1961.6.16~ 1962.6.11	
” ”	”	65	”	日本国土開発	1960.12.11~ 1961.8.15	
港区海岸通 3 丁目	”	100	R C 橋脚, 円型橋脚	興亜コンクリート	1961.1.17~ 1962.1.10	
” ”	”	73	P C 単純桁 (フレッシュナー)	東京鉄骨	1961.1.7~ 1962.1.25	
” ”	”	133	スパン 41m (ランプのカ所) No. 5 延長 145m	田島工業	1961.6.18~ 1962.6.12	
” ”	”	64	延長 145m 単純桁 P C (フレッシュナー)	戸田組	1961.6.21~ 1962.6.20	
” ”	”	82	R C ラーメン橋脚井筒カルウエド杭	日本国土開発	1961.6.27~ 1962.3.31	
” ”	”	51	”	北海道 P S コンクリート	1961.7.12~ 1962.10.4	
” ”	”	173	4 径間 P C 連続桁型連続箱桁 延長 421m (BBRV)	オリエンタル コンクリート	1960.3.26~ 1961.9.30	
” ”	”	90	フレッシュナー P C 連続桁およびラーメン 箱型断面高架橋	三菱造船	1960.3.26~ 1961.10.31	
港区芝海岸通 2 丁目	”	60	箱型断面鋼床版	汽車製造	1960.3.26~ 1961.11.30	
港区芝海岸通 1~2 丁目	竹芝出張所 港区芝沙留	480	単径間合成桁インターチェンジ部分橋脚 2 層ラーメン	石川島重工	1960.3.25~ 1960.11.9	
港区海岸通 1 丁目	”	18	単純桁 60 キロ鋼使用	横河橋梁	1960.12.20~ 1960.7.13	
港区芝沙留	”	122	S カーブ高架橋平均 20m 単純合成桁 耳桁のみカーブ桁	宮地鉄工	1960.7.13~ 1961.12.11	
” ”	”	247	インターチェンジ部分 20m スパン単純 合成桁延長 380m ケーソン 9 基	佐藤工業	1961.3.9~ 1962.3.31	
中央区江戸橋 1 丁目	中央出張所 中央区宝町1-9-7	100	”	宮地鉄工	1961.3.19~ 1962.8.31	
中央区江戸橋 1 丁目	中央出張所 中央区宝町1-9-7	473	江戸橋インターチェンジ橋脚門柱桁箱型 断面カーブ連続桁鋼重 2400 t	駒井鉄工	1961.3.9~ 1962.3.15	
中央区銀座東 8 丁目	竹芝出張所	112	曲線 3 径間連続箱型断面および合成桁	東亜コンクリート	1960.3.28~ 1962.7.31	
渋谷区千駄ヶ谷 3 丁目	千駄ヶ谷出張所 渋谷区千駄ヶ谷 1 丁目	253	BBRV 工法 3 径間連続箱型桁 延長 420m	別子建設, 三井建設	1961.3.28~ 1962.7.31	
千代田区神田一ツ橋筋橋	神田橋出張所	455	ケーソン 12 基 井筒 39 基,	三菱造船, 浦賀ドック, 川崎重工	1961.3.24~ 1962.12.31	
” ”	”	821	鋼桁, 鋼ラーメン橋脚, 鋼重 5341 t	大豊建設, 白石基礎	1961.6.21~ 1962.10.30	
中央区日本橋 1 丁目	中央出張所	442	ケーソン 15 基 井筒 29 基	松尾橋梁, 日本橋梁 汽車製造	1961.6.21~ 1963.3.31	
中央区本石町日本橋上	中央出張所	125.1	鋼構造, 3 径間連続箱桁 延長 160m	大林組, 鉄道建設興業 銭高組, 清水建設, 間組	1961.7.26~ 1962.3.31	
墨田区東両国 1 丁目	隅田川出張所 中央区日本橋橋両国 5	131.7	ケーソン 50 基 延長 1790m			
中央区銀座東 8 丁目と港区芝沙留地先	沙留出張所	100	上部高速道路と 1 体構造 RC 造 地下 2 階 建面積延 19 227 m ² 駐車台数 462 台	大成建設	1960.3.31~ 1961.12.25	
中央区日本橋 1, 2 丁目と中央区兜町 1, 2 丁目と狭まれた地域	江戸橋出張所 中央区日本橋兜町 2 丁目坂本公園内	150	上部高速道路と 1 体構造 RC 造地下 2 階, 地上 2 階面積延約 32 000 m ² 駐車台数 850 台	清水建設	1960.12.30~ 1963.3.31	
中央区日本橋本町 1~2 丁目	”	90	上部高速道路と 1 体構造 RC 造地下 1 階 建面積延約 10 000 m ²	間組	1961.8.12~ 1963.3.31	
港区芝沙留	竹芝出張所 港区芝沙留	331	トンネル 213m 基礎工	前田建設	1960.3.29~ 1961.11.14	
” ”	”	248	トンネル 88m 基礎, 擁壁工		1960.12.10~ 1962.4.30	
中央区銀座東 8 丁目	築地川出張所 中央区築地5~1	136	築地干拓 延長 320m 半地下道路 RC 擁壁工	戸田組	1960.7.19~ 1961.8.10	
中央区銀座東 6 丁目	同上	126	延長 645m	銭高組	1960.11.11~ 1961.9.6	
中央区宝町 3 丁目	中央出張所 中央区宝町1-9-7	376	延長 650m	地崎組	1960.12.13~ 1962.5.31	
渋谷区代々木町1~3丁目	千駄ヶ谷出張所 渋谷区千駄ヶ谷 1 丁目	81	延長 500m 土工, 擁壁	日本機械土木	1961.6.21~ 1962.6.20	
港区赤坂町	赤坂出張所	283	延長 400m	酒井建設	1961.3.28~ 1962.10.1	